

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098 - 868 - 6895
FAX 098 - 863 - 1495

経営者への活きた言葉

新たな成長の始まり (コーポレートガバナンス) 三品 和広 (神戸大学大学院教授)

1. コーポレートガバナンスがよいよコード (規定) になる日が近づいている。これは、どう見ても終わりの始まりである。終わりを迎えるのは「日本的経営」にはかならない。コードの背景にはアメリカの圧力が見え隠れする。その好例が社外取締役の導入に関する要求である。是非論が盛んになったのはつい数年前のことであったのに、反対派の代表格が最初の「1 人」を受け入れた時点で、いつの間にか要求は「2 人以上」にハネ上がり、今回のコードには伏線として新たに「3 分の 1」という文言が埋め込まれている。本丸の「過半数」に迫る意図が透けて見える。
2. 政治はここ 10 年で官邸主導を定着させてきた。次は相対的に後れをとった企業の取締役会主導を実現させる番だという官邸の働きかけには、迫力がある。これで、密室で任命された経営者が、絶大な人事権を背景にして、一元的な指揮命令系統の上に立ち、上場企業を動かすという、日本的経営の負の側面は一掃されることになるだろう。
3. ただし、良薬は口に苦しと相場が決まっている。コーポレートガバナンス報告書の作成に向けて原案づくりに入った上場企業も多いと思われるが、今回は経営者自ら筆を執るよう勧めておきたい。オブラートで何重にも包まれた劇薬の本質を見誤ると時勢に完全に取残されることになりかねない。そして、これを新たな成長の時代の始まりにしなければさうだからである。

(参考:「週刊東洋経済」2015 年 5 月 16 日号)

経営者のための理念・哲学

逆境・試練が人生や経営の糧

上甲 晃 (志ネットワーク「青年塾」代表)

1. 地位を極めたい人は、地位を極めた後がググッと老いる。財を極めたい人は、お金儲けができたところで老いていく。しかし、道を究めたいという人は、永遠に老いないですね。それどころか老いてますます盛んです。私は松下幸之助という人は、道を究めようとし続けたと思います。「道」という字を好んで書いていますが、経営の本質は何か、真理は何かという経営道を究めようとしたのだと。
2. そういう視点に立つと、道を究める上ではすべての逆境、試練が人生や経営の糧になるのです。その意味で松下幸之助という人は、極めて求道的な生き方をした人ではないかと。松下幸之助が亡くなるまで青春でいられた理由もそこにあるのではないのでしょうか。

(参考:「致知」:2015 年 8 月号)

新規成長分野

有名大学前に学生限定のカフェ

1. 「スマホ (スマートフォン) が充電できて無線 LAN も使え、無料でコーヒーが飲める」。お金のない大学生にとって夢のようなカフェが増殖中だ。店名は「知るカフェ」。学生限定のカフェとして、注目度が急上昇している。知るカフェは有名大学の目の前ばかりに立地する。2013 年 12 月に同志社大学前店ができてから、京都大学前店、早稲田大学前店と相次ぎオープン。
2. 知るカフェを運営するのは、ベンチャー企業エンリッジョン (京都市) だ。学生が無料で利用できるのは、就職活動時に「自社のことを知ってほしい」という企業の費用で運営しているため。スポンサー企業は店舗ごとに異なるが、三井物産や関西電力、野村総合研究所など大企業からベンチャー企業まで様々だ。1 店舗ごとに 30~40 社のスポンサー企業を募る。スポンサー料は 1 社当たり 90 万円だ。スポンサー企業は学生に対して適宜、会社や業界のことを説明する。

(参考:「日経ビジネス」2015 年 5 月 18 日号)

古典に学ぶ

忘れる功德 (その 1)

(解説) 宋の国は陽里に住む華子という男、中年のころから物忘れがひどくなった。朝うけとったのを夕方には、忘れ、夕方人にやったのを朝には忘れる。外出しては歩くのを忘れ、家にいる時は坐るのを忘れてしまう。今は前のことが思い出せず、あとでは今のことが思い出せない。家の者は弱りはてた。易者にみてもらってもわからない。巫に祈祷してもらっても効きめがない。医者にもみてもらってもなおらない。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)